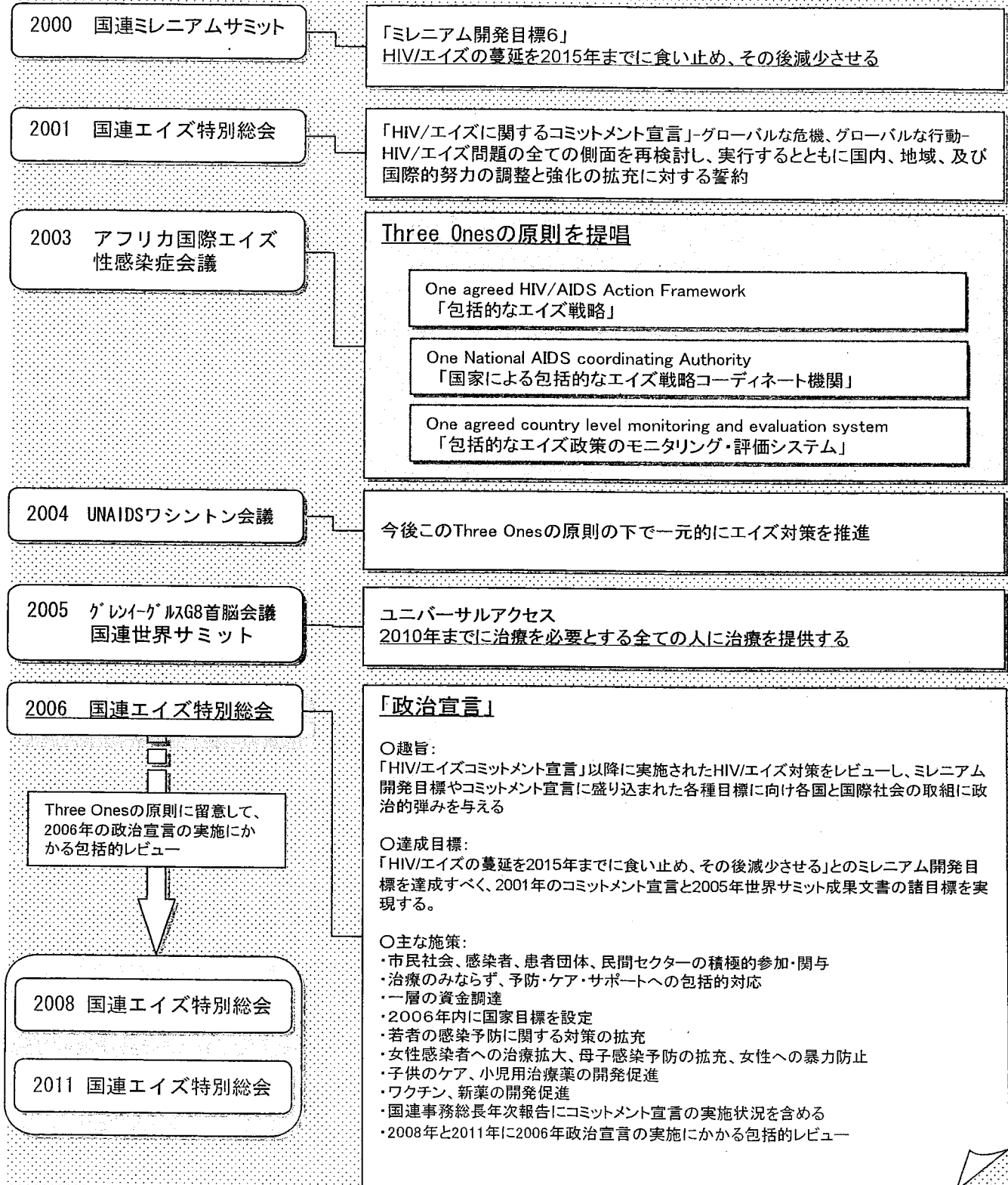


UNAIDS COUNTRY REPORTの作成について

- (1) 国連等におけるエイズ対策の主な流れ
- (2) UNAIDSへの報告について (日本語)
- (3) 指標の回答例
- (4) UNGASS COUNTRY PROGRESS REPORT (原文・英語)
- (5) REPORT TO UNAIDS HIV/AIDS TRENDS IN JAPAN DECEMBER 2005 (日本語)
- (6) REPORT TO UNAIDS HIV/AIDS TRENDS IN JAPAN DECEMBER 2005 (英語)
- (7) 国連エイズ政治宣言と国内の課題
(平成18年日本エイズ学会樽井委員発表スライド)
- (8) 07 UNGASS on HIV/AIDS

国連等におけるエイズ対策の主な流れ



今後の目標

2010年までに治療を必要とする全ての人に治療を提供

HIV/エイズの蔓延を2015年までに食い止め、その後減少させる

ユニバーサルアクセスに向けた国家目標の設定

Japan's national targets that were set for 2010 through

an inclusive and transparent process are as follows:

-To double the number of people using voluntary HIV testing services from about 100,000 in 2005 to 200,000 by 2010.

(保健所等のHIV抗体検査件数を2005年の約10万件から2010年には2倍の20万件にする。)

-To decrease the number of the newly reported cases of AIDS approximately by 25% from 367 cases in 2005 to 275 cases by 2010.

(エイズ患者の新規報告数を2005年の367件から2010年には25%減少させる。)

UNAIDS への報告

○2001年の国連総会 HIV/AIDS 特別セッションにおいて採択された HIV/AIDS に対するコミットメントとして、2年に一度、世界各国は自国の HIV/AIDS 対策の進捗状況を、ガイドラインに基づいて UNAIDS へ報告することになった（提出期限：2008年1月末）。

○ガイドライン: United Nations General Assembly Special Session(UNGASS) on HIV/AIDS Guidelines on construction of core indicators

http://data.unaids.org/pub/Manual/2007/20070411_ungass_core_indicators_manual_en.pdf

○報告内容

1. 国別進捗報告：国の HIV/AIDS 流行状況とその対応、ベストプラクティス、主な課題とその対応、モニタリングと評価等を含む
2. 25の指標（core indicators：別紙参照）

○市民社会の役割（ガイドライン p17-19）

- ・市民社会は国の HIV/AIDS 対策の主な役割を果たしている。
- ・国家エイズ委員会は、計画に基づくデータの収集方法、国別進捗報告の評価と提出のメカニズム、提出されたレポート、を市民社会が簡単にアクセスできるようにすべきである。
- ・国別進捗報告の作成には、市民社会、HIV と共に生活する人々が含まれるべきである。民間セクターもこの報告書作成のプロセス参加の同様の機会が与えられるべきである。
- ・UNAIDS は政府がワークショップやフォーラムを組織し、国別進捗報告の結果を UNAIDS に提出する前に、公開して議論することを強く求める。必要に応じて、最終報告書はこれらのイベントの議論を反映するべきである。

○報告プロセス（ガイドライン p19、p138 の Appendix 8 にチェックリスト）

国は報告に必要な仕事を行うためのタイムテーブルとマイルストーンを作るべきである。

- ・国家戦略計画と UNGASS ガイドラインに沿って、必要なデータを明確にする。
- ・データ収集・分析、報告書作成のタイムラインを含む計画の作成と流布、国家エイズ委員会、他の政府関係機関、市民社会の役割分担を明確にして共通理解する。
- ・データ収集方法をための適切な道具（手段）を明確にする。
- ・データ収集・分析・報告、全般のプロセスに対する資金を確保する。
- ・政府、市民社会、国際的コミュニティからなるパートナー組織によって調整しながらデータ収集・照合・分析を行う。
- ・適切なデータフォームと国別進捗報告のドラフトを完成させる。
- ・ドラフトに対して、政府機関、市民社会を含む関係者からコメントをもらう。

参考 http://www.unaids.org/en/Goals/UNGASS/2008_UNGASS_Reporting_FAQ.asp

United Nations General Assembly Special Session(UNGASS) on HIV/AIDS

Guidelines on construction of core indicators

http://data.unaids.org/pub/Manual/2007/20070411_ungass_core_indicators_manual_en.pdf

目的：この書類の主な目的は、国の AIDS 対策に関わっている人に、その国の対策の効果を測る重要な指標(core indicators)に基づく情報を、提供する事である。このガイドラインは、国が行っている活動のプロセスの一貫性と透明性を確保することに寄与する。また、この情報は UNAIDS が使い、UNGASS の活動報告として地域及び全世界の活動プロセス報告に用いられる。

国はこの重要な指標(core indicators)を、現在、実施しているモニタリング・評価活動に統合する事が強く勧められる。

Core indicators (p21, p84-86 の Appendix 1 参照)

National commitment and action

解説

1	Domestic and international <u>AIDS spending</u> , by categories and financing source (Appendix 6, p92-96)	p24
2	National Composite <u>Policy Index</u> (Appendix 7, p97-137)	p27

National programmes (Blood safety, ART coverage, PMTCT, TB/HIV, HIV testing, Prevention, Orphans, Education)

3	% of donated <u>blood</u> units screened for HIV in a quality-assured manner	p30
4	% of adults and children with advanced HIV infection receiving <u>antiretroviral therapy</u>	p33
5	% of HIV(+) pregnant women who received antiretrovirals to reduce the risk of <u>mother to child transmission</u>	p35
6	% of estimated HIV(+) incident TB cases that received treatment for <u>TB and HIV</u>	p37
7	% of women and men aged 15-49 who received and <u>HIV test</u> in the last 12 months and who know their results	p39
8	% of <u>most-at-risk populations</u> who received an <u>HIV test</u> in the last 12 months and who know their results	p40
9	% of <u>most-at-risk populations</u> who reached an HIV <u>prevention</u> programmes	p42
10	% of <u>orphaned and vulnerable children</u> aged 0-17 whose households received free basic external <u>support</u> in caring for the child	p44
11	% of <u>schools</u> that provided life skills-bases <u>HIV education</u> in the last academic year	p46

黄色は Low prevalence epidemics の国、■は High HIV-prevalence の国

Knowledge and behavior indicators

解説

12	current <u>school attendance</u> among <u>orphans</u> and non-orphans aged 10-14	p50
13	% of <u>young women and men</u> aged 5-24 who both correctly identify ways of <u>preventing</u> the sexual transmission of HIV and who reject major misconceptions about HIV transmission	p52
14	% of <u>most-at-risk population</u> who both correctly identify ways of <u>preventing</u> the sexual transmission of HIV and who reject major misconceptions about HIV transmission	p54
15	% of young women and men aged 15-24 who have had <u>sexual intercourse before age of 15</u>	p56
16	% of women and men aged 15-49 who have had sex with <u>more than one partner in the last 12 months</u>	p57
17	% of women and man aged 15-49 who have had <u>more than one sexual partner</u> in the past 12 months who report the <u>use of a condom</u> during their last sexual intercourse	p58
18	% of female and male <u>sex workers</u> reporting the <u>use of a condom</u> with their most recent client	p59
19	% of men reporting the <u>use of a condom</u> the last time they had <u>anal sex with a male partner</u>	p61
■	% of <u>injecting drug users</u> reporting the <u>use of a condom</u> the last time they had sexual intercourse	p63
■	% of <u>injecting drug users</u> reporting the use of <u>sterile injecting</u> equipment the last time they injected	p65

黄色は Low prevalence epidemics の国、■は薬物注射が HIV 感染となっている国

Impact indicators

■	% of young women and men <u>aged 15-24</u> who are <u>HIV infected</u>	p68
23	% of <u>most-at-risk populations</u> who are <u>HIV infected</u>	p70
24	% of adults and children with HIV known to be on treatment 12 months after initiation of <u>antiretroviral therapy</u>	p72
25	% of <u>infants</u> born to HIV-infected mothers who are <u>infected</u>	p75

■は HIV 感染が一般的な国

Global commitment and action indicators

1	amount of <u>bilateral and multilateral financial flows</u> (commitments and disbursements) for the benefit of low- and middle-income countries	p78
2	amount of <u>public funds for research and development</u> of preventive HIV vaccines and microbicides	p79
3	% of <u>transnational companies</u> that are present in developing countries and that have workplace HIV policies and programmes	p80
4	% of <u>international organizations</u> that have workplace HIV policies and programmes	p81

指標
1. 国内と国際的なカテゴリー別 AIDS 対策の支出と財源
2. 国の複合政策指標（ジェンダー、職場プログラム、汚名と差別、予防、ケアとサポート、人権、市民社会の関与、モニタリングと評価）
3. 全献血中で HIV スクリーニングされた割合（％）
4. 進行した HIV 感染者（小児も）で ARV を受けた割合
5. HIV 陽性妊婦が母子感染軽減のために ARV を受けた割合
6. HIV 感染者で結核にかかった人のうち結核と HIV の両方の治療を受けている割合
7. 15～49 歳の男女で過去 1 年間に HIV テストを受けその結果を知っている割合
8. リスクの高い人々の中で過去 1 年間に HIV テストを受けてその結果を知っている割合
9. リスクの高い人々の中で HIV 予防プログラムに関わったことがある人々の割合
10. 0～17 歳までの孤児や脆弱な子供で無料の子供たちをケアするサポートを受けたことがある割合
11. 学校の最終学年で日常生活に基づく HIV 教育を実施した学校の割合
12. 10～14 歳までの子供が学校へ行っている割合（孤児と孤児以外の 2 通り）
13. 15～24 歳の男女で HIV の正しい性的感染予防方法と HIV 感染の正しい知識を持っている割合
14. リスクの高い人々の中で HIV の正しい性的感染予防方法と HIV 感染の正しい知識を持っている割合
15. 15～24 歳の男女で 15 歳までに性行為をしたことがある割合
16. 15～49 歳の男女で過去 1 年間に一人以上の人と性行為がある割合
17. 15～49 歳の男女で過去 1 年間に一人以上の人と性行為をした際、最後の性行為でコンドームを使用した割合
18. 男女のセックスワーカーが最も最近のクライアントに対してコンドームを使用した割合
19. 男性が男性のパートナーに対しアナルセックスをした最も最近にコンドームを使った割合
20. 注射薬物使用者が最も最近の性行為でコンドームを使った割合
21. 注射薬物使用者が最も最近に注射した際、滅菌された注射用具を用いた割合
22. 15～24 歳の男女で HIV に感染している人の割合
23. リスクの高い人々の中で HIV に感染している人の割合
24. ARV を開始後 1 年時点で生存している人の割合
25. HIV 感染の母親から生まれた新生児が HIV に感染している割合

指標の回答例

例1：指標5、25について

平成18年度の報告書から、

●2006年（平成18年）妊娠転帰が判明しているもの：46例

うち選択的帝切：27例

緊急帝切：1例

経膣：1例（助産院で出産）

中絶：9例

不明：8例（前年妊娠中と報告があったにもかかわらずその後報告がなかった例：4例、帰国した例：2例、他院へ紹介されるも紹介先から報告なし：2例）

●母子感染について判明しているもの：22例（うち帝切21例、経膣1例）はすべて非感染であった。

●抗ウイルス薬投与例：34例

選択的帝切：27/27例、緊急帝切：1/1例、経膣：1/1例、中絶：2/9例、不明：3/8例

母子感染非感染の症例は全て投与あり

AZT単剤：1例、3剤以上HAART：33例

以上より、

Indicator5 HIV感染妊婦が母子感染軽減のためARVを受けた割合は、選択的帝切・緊急帝切ともに100%。

Indicator25 HIV感染の母親から生まれた新生児がHIVに感染している割合は、選択的帝切・緊急帝切ともに0%。

となります。

出典：「周産期・小児・生殖医療におけるHIV感染対策に関する集学的研究 平成18年度総括・分担研究報告書」(厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業))

例2：指標15、16、17について

出典：「HIV感染の動向と影響及び政策のモニタリングに関する研究 平成18年度総括・分担研究報告書」(厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業))

対象者	首都圏在住の10代女性とそのカップルの男性									
年齢	女性：17.1±1.7歳(13-19歳)、男性17.9歳±2.3歳(13-27歳)									
結果変数	性経験率、初交年齢、性パートナー数、コンドーム使用割合									
人数	602人(男性301人、女性301人)									
有効回答率	42.7%									
データ収集法	無記名自記式質問票									
サンプリング法	ロケーションサンプリング									
リクルート場所	繁華街									
リクルート時期	2000年1月25-30日、2月11日、計7日間									
地域	渋谷、池袋									
感染率	-									
性行動	性経験率 (%)									
		12-14歳	15-17歳	18-19歳	20歳以上 全体					
	男性 (n=301)	33.3	70.5	86.7	91.2 79.1					
	女性 (n=301)	34.6	73.5	88.1	- 77.1					
	全体 (n=602)	-	-	-	- 78.1					
	初交年齢(性経験者のみ)									
		10歳以下	11歳	12歳	13歳	14歳	15歳	16歳	17歳	18歳
	男性 (n=238)	0	0	0.8	4.2	8.8	22.7	24.4	16.4	8
	女性 (n=232)	0	0	0	4.7	11.6	23.3	24.1	18.1	9.9
	全体 (n=470)	0	0	0.4	4.5	10.2	23	24.3	17.2	8.9
これまでの性パートナー数										
		12-14歳	15-17歳	18-19歳	20歳以上 全体					
男性 (n=238)	1人	66.7	37.4	37.4	23.1	34.5				
	2人	0	15.4	11	23.1	15.1				
	3人	33.3	11	8.8	5.8	9.7				
	4人	0	7.7	8.8	11.5	8.8				
	5人	0	6.6	6.6	11.5	7.6				
	6-9人	0	5.5	8.8	7.7	7.1				
	10人以上	0	16.5	14.3	17.3	15.5				
	不明	0	0	4.4	0	1.7				
	女性 (n=232)	1人	55.6	47.4	29.4	-	37.9			
		2人	11.1	17.5	23	-	20.3			
3人		11.1	8.2	14.3	-	11.6				
4人		0	3.1	6.3	-	4.7				
5人		0	8.2	11.9	-	9.9				
6-9人		0	7.2	5.6	-	6				
10人以上		22.2	8.2	8.7	-	9.1				
不明		0	0	0.8	-	0.4				
全体 (n=470)		1人	-	-	-	-	36.2			
		2人	-	-	-	-	17.7			
	3人	-	-	-	-	10.6				
	4人	-	-	-	-	6.8				
	5人	-	-	-	-	8.7				
	6-9人	-	-	-	-	6.6				
	10人以上	-	-	-	-	12.3				
	不明	-	-	-	-	1.1				

(前ページから)

過去1年間の性パートナー数

		12-14 歳	15-17 歳	18-19 歳	20 歳以上	全体
男性 (n=238)	1 人	66.7	45.1	60.4	51.9	52.5
	2 人	0	18.7	6.6	21.2	14.3
	3 人	33.3	11	12.1	9.6	11.8
	4 人	0	4.4	4.4	3.8	4.2
	5 人	0	5.5	2.2	7.7	4.6
	6-9 人	0	2.2	3.3	1.9	2.5
	10 人以上	0	9.9	7.7	0	6.7
	不明	0	3.3	3.3	3.8	3.4
女性 (n=232)	1 人	44.4	55.7	50	-	52.2
	2 人	22.2	14.4	26.2	-	21.1
	3 人	11.1	10.3	7.9	-	9.1
	4 人	0	2.1	3.2	-	2.6
	5 人	0	5.2	5.6	-	5.2
	6-9 人	0	3.1	2.4	-	2.6
	10 人以上	11.1	3.1	2.4	-	3
	不明	11.1	6.2	2.4	-	4.3
全体 (n=470)	1 人	-	-	-	-	52.3
	2 人	-	-	-	-	17.7
	3 人	-	-	-	-	10.4
	4 人	-	-	-	-	3.4
	5 人	-	-	-	-	4.9
	6-9 人	-	-	-	-	2.6
	10 人以上	-	-	-	-	4.9
	不明	-	-	-	-	3.8

直近の性交渉時のコンドーム使用割合

	12-14 歳	15-17 歳	18-19 歳	20 歳以上	全体
男性 (n=238)	66.7	53.8	60.4	63.5	58.8
女性 (n=232)	44.4	58.8	58.7	-	58.2
全体 (n=470)	-	-	-	-	58.5

性パートナー数別に見たコンドーム使用割合

	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	全体
全体 (n=470)	65.9	54.2	44.9	56.3	39.7	58.5

実施者

木原雅子(木原(正)班)

出典

厚生労働科学研究費補助金 エイズ対策研究事業 HIV 感染症の動向と予防介入に関する
社会疫学的研究 主任研究者 木原正博
・平成 12 年度 研究報告書 平成 13 年度(2001 年) 3 月. p.239.

備考